聖星

浜松聖星高等学校通信　2018 年度　No. 6

H30. 9. 30 発行

学校長挨拶

校長　重信明利

今年の全米オープンテニスで日本の大坂なおみ選手が優勝しました。

テニスの四大大会（グランドスラム）で優勝するという史上初の快挙を成し遂げた大坂選手の勝因は何だったのでしょうか。それは大坂選手があこがれのプレーヤーであるセリーナ・ウィリアムズとの対戦をとにかく楽しもうと考えていたからだと思われます。

一方、セリーナは 24 回目のグランドスラム優勝を自らに義務付けていました。結婚、出産を経験した女性として、勝利することに拘泥していたことがあのような形で優勝を逃す原因となったとも考えられます。

スポーツにしても音楽にしても基本は「楽しむ」ものであり、「勝つこと」自体が目的のものではないのです。

生徒会・末広会新執行部

＜生徒会＞ 会長　浅原　芽衣（２５）

副会長　鈴木　眞露（１５）

書記・会計　平野　りな（２３）　渥美　さくら（１１）　半塲　楓佳（１２）

広報　山内 夢花（２５）　川原　花楓（１１）　岩浅　潤（１３）

＜末広会＞ 会長　松本　一志（２３）

班長　三幸の園訪問班：池田　もえぎ（２７）

聖隷厚生園訪問班：鈴木　涼華（２３）

静光園訪問班：西崎　羽美（２７）

ｸﾘｰﾝ･ｴｺﾛｼﾞｰ班：佐野　二千夏（２７）

訃報

浜松海の星高校の元理事長ニコル・ベルナデット・カニヴェ先生が、9 月 19 日に帰天されました。カニヴェ先生は、昭和 54 年度から平成 9 年度まで理事長として本校のために尽力されました。先生が神のみもとで安らかに憩われるようお祈りいたします。

英語スピーチコンテスト

9 月 15 日（土）天竜高校にて、英語スピーチコンテストの西部大会が行われました。20 名が出場した一般の部で、3 年松組の尹藝燕さんが優勝し、10 月 20 日（土）に静岡市で行われる県大会に出場することになりました。

⭐ 各部活動の報告

部活名	大会結果・活動報告等
吹奏楽部	8 月 26 日（日） 第 73 回東海吹奏楽コンクール金賞 ※10 月 21 日（日） 第 66 回全日本吹奏楽コンクール 出場決定 全国進出
剣道部	第 62 回静岡県西部地区剣道大会兼第 38 回永峰杯争奪剣道大会 女子団体 第 2 位
ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ部	7 月 16 日 選手権西部地区予選 一般男子シングルス 3 位 小池一斗 初心者男子シングルス 16 位 金原駿 7 月 21 日 選手権西部地区予選 一般女子シングルス 7 位 北川栞那 初心者女子シングルス 16 位 杉山深咲 県大会出場 9 月 22 日新人戦西部地区予選 二年男子シングルス 3 位 小池一斗 新人戦西部地区予選二年女子ダブルス 9 位 北川栞那・長柄有咲 9 月 24 日 新人戦西部地区予選 二年男子ダブルス 8 位 小池一斗・桑原陽向 一年男子ダブルス 3 位 四條孝太郎・岩崎結叶 二年女子シングルス 6 位 北川栞那 一年女子シングルス 6 位 加藤奈都 県大会出場
テニス部	8 月 8 日（木） 静岡県高等学校新人体育大会 西部地区予選 ［シングルス］ ベスト 64 中村歩理 ベスト 64 久米にいな 8 月 13 日（月） アズマカップ高校テニス大会 ベスト 32 中村・久米
陸上競技部	平成 30 年全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 ［女子 800m］ 平井美羽 全国大会出場 第 61 回東海陸上競技選手権大会 ［女子 800m］ 平井美羽 出場 ［女子 4×100m ﾘﾚｰ］ 金子、田中、吉山、清水 出場 ［女子 4×400m ﾘﾚｰ］ 平井、田中、吉山、杉山 8 位 第 51 回静岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会 ［男子 100m］ 加茂賢季 準決勝進出 ［男子 200m］ 加茂賢季 準決勝進出 ［男子 4×100m ﾘﾚｰ決勝］ 6 位 岩田、加茂、堀部、原田 東海新人出場 ［女子走高跳］ 9 位 鈴木実穂 1 位 西澤ほのか 東海新人出場
男子サッカー部	第 97 回平成 30 年度全国高等学校サッカー選手権大会静岡県大会 対富士宮西高校 0-0 PK3-5
弓道部	9 月 8 日（土） 平成 30 年度第 2 回西遠地区高等学校弓道大会 野中碧 第 5 位
合唱部	8 月 26 日（日） 第 73 回関東合唱コンクール静岡県大会 銅賞
ダンス部	8 月 7～9 日（火～木） 第 31 回全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸 出場
グローバルイシュー研究部	8 月 26 日（日）、9 月 22 日（土） ゆりの木通りまちなかガイドツアー for ALT teachers 参加

TEL：（053）454-5376 FAX：（053）453-4719
学校ホームページ「https://hamamatsu-seisei.jp/」

担当者からのメッセージ

✎生徒部より　交通安全について

生徒部長　　鬼石勇樹

9 月は秋の長雨が続き、自転車通学の生徒にとっては天候に苦労する一か月だったと思います。毎朝、生徒たちの登校時の様子を見ていますが、雨の中、合羽を着て自転車で登校する逞しい生徒の姿を見ると、頼もしく思います。しかし、雨の中、自転車で登下校することは事故を起こす危険性も高くなることは間違いありません。悪天候の時はいつも以上に、気をつけて登下校するようご家庭でも声掛けをお願いします。

この夏、川崎市の自転車事故の判決が出ました。自転車で歩行者と衝突し死亡させた女子学生に禁固 2 年（執行猶予 4 年）の判決が言い渡されました。事故当日、女子学生は音楽を聴きながらスマートフォンを操作していたことが原因で、危険回避が遅れて死亡事故に繋がったと報道されています。根拠のない「自分は大丈夫」という過信が、人生を大きく変える事故に繋がってしまいました。このことは、本校の生徒にとっても他人事ではありません。生徒の中には、ルール違反と認識しながらもイヤホンを付けたまま自転車を運転している生徒がいます。自分の命は当然ながら、他人の命を守るために交通規則を遵守しなければなりません。改めて交通安全に関してご家族でお話をしていただくことをお願いいたします。

また、保護者の皆様による自家用車での送迎時には、本校通用門付近・ロータリー周辺部での歩行者・自転車へのご配慮・ご注意をお願いいたします。

～お子様が自転車通学している保護者の皆様へ～

〇傘をさしての自転車運転

〇自転車運転中の携帯電話使用

〇ヘッドホン（イヤホン）を使用しての自転車運転

※上記はすべて罰則として 5 万円以下の罰金です。（静岡県道路交通法施行細則より）

10月 の行事予定

★冬服着用期間：10 月 1 日～5 月 31 日（前後 10 日間はどちらでも可）

1	月	体育祭準備日(45 分授業)	13	土	ﾍﾞﾈｯｾ駿台記述模試(3 年特進＋希望者)
2	火	**体育祭**	16	火	**中間試験(～10/18(木))**
3	水	≪委員会≫	20	土	授業日
5	金	体育祭予備日			3 年評議委員会、理事長校長と語る会〔AM〕
6	土	授業日	22	月	2 年チャペルアワー、塾対象学校説明会
7	日	第2回英語検定(1次)	23	火	1 年 SYD 講座〔LHR〕
10	水	3 年新体力ﾃｽﾄ(3,4 限)、≪学年集会≫	24	水	≪全校集会≫
11	木	新体力ﾃｽﾄ(2 年 1,2 限、1 年 3,4 限)	27	土	秋のオープンスクール
12	金	3 年保育ふれあい体験	31	水	≪委員会≫

✎TO１学年　　１学年主任　鈴木富美子

2 学期に入り、後期委員が決まりました。1 年生は生徒会役員になった生徒が 5 名います。部活動でも熱心に活動している生徒が多く、ひと夏を乗り越えて気付いたら体重が数キロ減っていた、と笑顔で話してくれた生徒もいました。毎朝早くから登校してひきしまった表情で練習に励んでいる様子があちこちで見られます。代替わりして活動が本格的になってくる時期ですが、つらい場面でも安易な選択をせず、しっかりぶつかって周りと協力しながら自分の力にしていくことを学んでほしいと願っています。

9 月末の担任との個人面談では、来年度のコース・文理選択の最終確認を行いました。毎朝の PT をはじめ、勉強でも部活でも「今」を大切に 1 つずつ前向きに取り組むことが、自信と実力をつける一番の近道です。高校生活にも慣れた 2 学期は自分の姿勢を問われるときです。行動する 2 学期にしてください。

✎TO２学年　　２学年主任　川口多加

今年の中秋の名月は 9 月 24 日でした。浜松は曇り空で残念ながらぼんやりとしか見えませんでしたが、東京ではきれいに見えたそうで、テレビの全国ニュースで月の映像が出ていました。今の高性能カメラならその美しさが映像でもじゅうぶん伝わりますが、月を見上げるという行為に伴う空気感は、やはり実際に体験しなければ味わうことはできません。人間を豊かにするのは、そういう五感で受け取る実体験の積み重ねのような気がします。

ところで、今年は、中秋の名月＝満月ではなかったのだそうです。中秋の名月は、8 月の新月から数えて 15 日目（旧暦 8 月 15 日）の夜の月のことです。それに対して満月は、月が太陽の光を真正面から受けて、地球から真ん丸に見える瞬間のことで、今年は 9 月 25 日だったそうです。このように中秋と満月がずれるのはときどきあるとのこと。実際に起きていることの裏にどのような仕組みや歴史があるのかを考えるのも、さまざまな場面で生きる力につながることだと思います。

✎TO３学年　　３学年主任　土井則子

本校では、月に一回学年集会を放課後行っております。学年の先生方が当番制で、その時期その時に合った話を生徒たちにします。集会前、生徒たちは正座、黙想をし心を整えます。今年の３年生は、もうすっかりこのルーティンワークも身に付き指示がなくても人の話を聴く姿勢を自らとることができるようになりました。先週行われた集会においては、一教師が高校時代から自分の半生を振り返る時、「周りの人の助けなくしては今の自分はない、より良き人間関係において縁もめぐってくる。それだけに人に感謝することを日々忘れないでほしい。」というメッセージを生徒たちに伝えました。その教師のユーモア交えた実体験の話を生徒たちの中には、学生時代の教師の姿を思い浮かべながら友人と談笑しながら聞いているものもいれば、うんうんと相槌をうちながら聴き入っているものもいました。

9 月に入り、もう既に就職試験、AO 入試、推薦入試が始まっております。卒業後の新たな道のりを決定すべく一大試験に、言うまでもなく生徒自身の多大なる努力は必要とされます。しかし、一方でそこに至るまで家族を初めとする多くの周囲の支えがあることを忘れないで試験に向かってもらいたいと思います。それは同時にどんなことにも耐えうる受験者の大きな心の支えになることでしょう。